

| めざす学校像・子ども像・教員像 | | 課題 | 今後の改善方策 |
|--|--|--|---|
| <p>○明日もまた来たくなる、楽しくいきいきとした、温かさや厳しさのある学校</p> <p>○かしこく、つよく、助け合う子ども</p> <p>○組織の一員として協働し、子どもを愛し子どもと共に伸びようとする教師</p> | | <p>目指す子どもの姿実現に向けた全教職員の共通理解・共通実践及び組織の活性化</p> | <p>・目指す子どもの姿(かしこく・つよく・助け合う)の徹底</p> <p>・目指す子どもの姿を具現化を図るための校務分掌組織の更なる活性化</p> <p>・管理職と各部、各担当職員との意思疎通を深め、目指す方向に向けて方針案、実施案等に具体策が明確に表れるようにしていく。</p> |
| | | <p>国語科・算数科の基礎・基本の定着</p> | <p>・学習規律の定着に向けた全般的な取り組みの実施</p> <p>・少人数指導の充実及び改善</p> <p>・「読む力」を育成に向けたテーマ研究と読書指導の充実</p> |
| | | <p>保護者・地域との連携による更なる共育の推進</p> | <p>・学習成果を地域に発信する「返す」活動を充実させる。</p> <p>・「共育」の更なる推進のために、懇談会の参加人数が増えるように、PTAと連携し、懇談会の内容も工夫をしていく。</p> <p>・学校HPや公民館での広報活動を推進していく。</p> |
| 重点目標 | 指標(取組指標・成果指標) | 達成状況についての説明 | |
| <p>規範意識と実践力の向上</p> | <p>挨拶の到達目標を学年間で設定する。低・大さな声で自分から 中・立ち止まって自分から 高・相手の名前を言って自分から</p> <p>「もくもく掃除」「かかとそろえ」「名札着用」の定着を図る。児童の意識調査(2ヶ月に1回)定着率80%以上</p> <p>立腰タイムの定着100%が「目と心で聴く」指等の徹底を図る。学期末の教師による自己評価・肯定的な評価80%以上を目指す</p> <p>学習参観の日は、掃除時間から地域・保護者にその様子を見てもらい、挨拶、掃除の評価等を実施する。</p> | <p>・「あいさつパワーアップの日」の取り組みは本年度で3年目を迎えるが、年々、意識して進んで挨拶をする子どもが増え、学校外でも挨拶ができるようになってきた。97%の児童が進んで挨拶をしていると評価している。保護者評価によると83%が肯定的に評価している。</p> <p>・「もくもく掃除」85%「かかとそろえ」100%「名札着用」95%といずれも目標を達成することができた。</p> <p>・「立腰タイムの定着」100%達成している。「目と心で聴く」は各学年手立てを考え、定着を図った。83%の職員 %の児童が肯定的評価をしている。</p> | |
| <p>確かな学力の向上</p> | <p>5年生以上の算数科において少人数指導・自然度加指導・チームティーチングによる指導の体制づくりと実施を行う。(9割以上の単元にて実施)</p> <p>全学年において、校長室検定を行う。認定書の発行1500枚以上を目指す。</p> <p>毎時間、「めあて」と「まとめ」を明確にし、「ふり返し」を取り入れた授業を行う。学期末の教師による自己評価 90%以上</p> <p>「自学」の内容充実のために「自学ノート展示コーナー」を設けるなど学校全体としての取り組みを工夫する。</p> | <p>・算数科において少人数指導やTTによる指導体制を確立し、5、6年生は、ほぼ全単元で、3、4年生は8割の単元で実施することができた。</p> <p>・全学年、校長室検定に取り組むことができた。どの学年も全員合格を目指し、担任が声をかけ、挑戦させた。1年生の詩の暗記、2年生九九暗記は全員、合格し、認定証を渡すことができた</p> <p>・自学については、取り組みに対する個人差が大きい。個人の目当てを設定させるなどして意欲付けを行っていく必要がある。</p> <p>・教師の自己評価90%が毎時間「めあて」「まとめ」を黒板に書き、児童が学びを実感できるようにしている。</p> | |
| <p>保護者・地域との連携による更なる共育の推進</p> | <p>懇談会の出席人数が増えるようにPTAと連携すると共に懇談会の内容も工夫していく。(懇談会出席者5割以上)</p> <p>学習成果を地域に発信する場を設定(子どもの様子や成果物を公民館で発信・学年1回 教師がHPで発信)</p> <p>地域素材を取り入れた体験活動やGTの活用を前年度よりも増やす。GTの延べ人数 100人以上を目指す。</p> <p>土曜授業日に緊急時児童引き渡し下校訓練を行う。</p> | <p>・懇談会の出席人数を増やすために、PTAの学年委員会主催による茶話会を実施している。懇談会の出席人数は増えたものの、5割以上は達成できなかった。</p> <p>・「地域に学び、地域に返す『共育』の実現」について、100%の教職員が肯定的な評価を行っている。GTは目標を大きく超え、延べ150名のGTが学校の教育活動に協力してくれた。</p> <p>・学習の成果や感想は、GTへの手紙という形で地域に返した学年が多かった。総合的な学習の成果を、「リーフレット」という形で公民館に発信した学年もあり、地域からはお褒めの言葉を頂いた。・緊急時児童引き渡し訓練は、計画通り実施することができた。</p> | |
| <p>学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)</p> | | | |
| <p>各学年の総合的な学習や生活科の学習で地域交流の場を設けていただき感謝している。地域のGT の方々も子どもたちと触れ合う機会ができたことをとても喜んでおり、取り組みを通して、各学年の先生方のチームプレイの素晴らしさを感じることができる。これからも学校サポーターとして少しでも役に立っていききたい。</p> <p>若い先生方が増え、学校全体が生き生きしているように思える。これからも地域との情報交換を密にしていきたい。共育推進のために協力していきたい。挨拶・掃除の姿はとても良くなっていると思える。学校にGTなどで来校することで、子どもたちに名前や顔を覚えてもらい、学校外で会っても「〇〇さん、おはようございます」と名前を呼んで挨拶をしてくれる子がいるのは、とても嬉しいことである。懇談会の出席率を上げるためにPTAとしても頑張っていきたい。学校の様子に安心しているから懇談会に出ないという保護者もいるようである。懇談会の在り方についてアンケートなどで保護者の意識を調査し、何らかの工夫をしていきたい。</p> | | | |